



よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

小川・吉開

検索

部内資料

編集発行

2013, 5, 5 NO. 234

よしかい育子
465-7071
小川ゆうじ
466-8887
なんでも相談所
465-9939

なんでも相談の開設は
月・水・金の
午前10時～正午
無料・弁護士相談
5月11日(金)
午後18時～20時
予約が必要です

どんな世論調査でも、 過半数の国民が「9条改定に反対」

今度の参議院選挙では、憲法を守るのか変えるのかが大きな争点になることは確実です。いま憲法を変えようと思ったら、国会議員の3分の2以上の多数で、改憲の発議を行って、国民投票で過半数が賛成しなければなりません。これは、平和主義や基本的人権などが、時の政府の意向で簡単に換えられないように、憲法で権力の暴走を防止しているのです。同じことは、アメリカやフランス、ドイツでもやられていることです。

いま自民党や維新の会が狙っているのは、まず憲法を簡単に換えられるように、96条を改悪した上で、9条を変え、「国防軍」を作り、アメリカと一緒に海外で戦争をする国に日本をつくりかえようというのです。ですから、改憲に賛成の人も、こういうやり方は立憲主義という、近代国家として

の根本に係わる大問題だと反対に立ち上がり、日本弁護士連合会もあけて反対を明確にしています。

国会の中では、改憲派が多数を占めていますが、どんな世論調査でも、過半数の国民が「9条改定に反対」と答えるなど、国民のなかでは少数です。

憲法9条には、世界と日本の平和の願いが込められています。世界に誇るこの宝を守り、生かした平和外交をおこなってこそ、日本はアジアと世界の平和に貢献し、本当の信頼を得ることができるとは思いません。

日本共産党は、あの侵略戦争に命がけで反対した、試され済みの政党です。この大阪選挙区で、危険な「改憲連合」と真正面から対決できるのは、日本共産党のたつみコータローただ一人です。



日本共産党大阪府委員会が発行した「憲法を生かし、政治を変える」たつみコータローのピラを共産党議員団は5月1日の早朝、吉見の里駅前配布しました。

「平和憲法を守り抜く」が私の原点

29歳の時、夫に「子どもたちの面倒はみておくから行っておいで」とすすめられ、原水爆禁止世界大会長崎大会にはじめて参加しました。そこで、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを知り、子育てだけでなく、平和を守っていくことも母親としての仕事なんだと目覚めました。

それから、「戦争」を知ろうと広島原水爆禁止世界大会や、沖縄戦跡・基地巡りなどに参加しました。戦争で犠牲になるのは戦っている兵士よりも、子どもたちの方がはるかに多いということを取り衝撃を受け、子どもたちに平和な未来を残したいという思いが強くなっていきました。そして、戦前の時代に政党でただ一つ戦争反対を貫き、戦後も平和を守るためにがんばっているのが日本共産党だと知り、私もいつしよにがんばりたいと入党しました。それが私の生き方、政治の原点です。憲法9条を守るためにも、7月の参院選挙で日本共産党の躍進に力を尽くします。



5月9日臨時議会開会

新しい正・副議長が選出されます

5月9日(木) 午前10時より臨時議会が開かれます。

前回改選時に、正・副議長の任期を2年としたため3年目の今年、新しい正・副議長を選出します。

また、監査委員や文教厚生、総務建設の2つの常任委員会、その他委員会の改選がおこなわれます。